



6月（いのちを見つめる強調月間）が終わります…。

早いもので6月が終わります。6月は「いのちを見つめる強調月間」と位置づけて、たくさんの取組が各学校で実施されてきました。本校でも校長講話やアラスカフォトライブに始まり、地域や関係機関と協力して、国道植栽や水泳の授業を前に職員のAED講習会、中・高学年児童の交通安全教室を実施しました。また、学校開放週間には、全学年で命をテーマとした道徳の授業を公開しました。コミュニティスクールの第2回運営協議会もこの時開催することができました。22日、23日には、6年生は幼児教育センターで赤ちゃんとのふれあい体験をし、4・5年生は原爆の被害を学ぶために原爆資料館等を見学しました。これらの学習で改めて平和の大切さや自他の命の大切さを実感することができました。



28日には、佐世保空襲について、より深く学ぶために、市民劇団の「楽園天国」による朗読劇を全学年で鑑賞しました。佐世保空襲を語り継ぐ方が少なくなった今、空襲による被害の実相や、戦争の悲惨さや平和の大切さを実感しました。保護者や地域の皆様のご協力により、6月は実にたくさんの豊かな体験をすることができたと思っています。

さて、いよいよ明日から7月です。1学期も残すところ3週間程になりました。保護者の皆様との個別面談を生かしながら、充実した夏休みにできるよう子供たちと準備をしていきます。

## 赤ちゃんふれあい(いのちを育む)事業 6年生 6月22日

幼児教育センターの赤ちゃんふれあい事業に本校6年生が参加させてもらいました。5グループに分かれ、それぞれ2組の赤ちゃんと保護者とのふれあいの機会をいただきました。1歳に満たない赤ちゃんを今、実際に子育てされているお母さんからの話はとても貴重でした。

最初はおっかなびっくりだった6年生も、それに応えてくれる赤ちゃんの仕草がかわいいのか自然と笑顔でふれ合うことができていました。どうすれば赤ちゃんが喜ぶのか、お母さんに聞きながら頑張っていました。今回の経験は、将来親となる子供たちにとって、明るい希望を抱ける貴重な経験になったと思います。参加していただいたお母さん方とかわいい赤ちゃんたちに感謝です。



## 研究授業(算数)・3年生 6月20日

20日3校時、3年生の研究授業がありました。研究授業というのは、授業の質を高めるために自分の授業を公開をし、その授業のあり様を議論することで教師同士が学び合います。

今回は、算数の「1万をこえる数」という単元でした。子供たちは、「1万をこえる数～1億」について、今までの学習を生かし、その仕組みを考えたり、数の相対的な見方を基に計算したりすることを通して、大きな数や十進法位取り記数法について理解を深めていきます。この日の授業では、身近な問題場面で、1万をこえる数の足し算や引き算の仕方についてしっかり取り組み、友達に自分の考えを説明する姿がありました。



## クラブ活動が始まりました！ 6月21日

やっと本格的なクラブ活動が始まりました。今年度は、図工・家庭科・パソコン・科学・スポーツの5つのクラブに、4～6年生の児童が分かれて活動します。1回目の21日は、図工クラブが「プラバン作り」、家庭科クラブが「アクセサリ作り」、パソコンクラブが「スクラッチ大会」、科学クラブが「スライム作り」、そして、スポーツクラブが「水泳」と、子供たちが楽しめる活動が計画されていました。それぞれが、自分たちで材料を持ちより、どういうものを作るか楽しみながら気の合う仲間と仲良く活動していました。



## 【平和の大切さを学びました！】

### 4・5年生 長崎見学 6月23日

23日金曜日、4・5年生が平和学習のため長崎市に出かけました。被爆地である長崎県に生まれた私たちにとって長崎市に落とされた原爆と被爆の状況を学ぶことはとても大切なことです。長崎原爆資料館、爆心地公園、平和公園（平和の泉や長崎の鐘、平和祈念像など）を班ごとに、平和案内人の方々の説明を受けしっかりと学ぶことができました。最後は、平和祈念像の横にある「折鶴の塔」に全校児童がメッセージを書いた千羽鶴を奉納しました。午後からは長崎県庁を訪れ、職場見学と私たちが住む長崎県のことを、いろいろな統計クイズを交えながら学ぶことができました。



## 【とびだせ！町のたんけんたい】 6月26日

この日は朝から時おり雨が強く降り、天気の手配がありました。しかし、回復の見込みがあったことと、たくさんの保護者が関わっていただいていたこともあり、予定通り2年生が生活科の学習で、町たんけんに出かけました。事前学習でグループごとに決めた、3つのお店・施設を回ります。みんなで歩いて、みかど肉屋さんの近くまで下っていく時は、雨が降っていたのですが、後半からは雨も上がって、自分たちがくらす町をじっくり探検して回ることができました。

子どもたちは、質問できてうれしそうにしていたり、真剣にメモをとっていたり、初めて訪れる場所に目をキラキラさせたりしていました。



## 【1学期最後の委員会活動】 6月28日

5・6年生が所属する委員会活動は、月1回の定例の委員会活動（45分間）と、常時活動を行う当番活動があります。28日は、1学期最後の定例の委員会活動があり、それぞれの計画に沿って活動を行いました。こういう時でないといけない倉庫や水道場、飼育小屋等との大掃除をしたり、計画の進捗状況の確認や反省をしたりしました。2学期に向け、継続して学校のために頑張ってもらいたいものです。



## 【ひいばあと雨！佐世保空襲朗読劇】 6月28日

28日に「6.29 平和集会」を開きました。佐世保空襲について学ぶ集会で、「8.9 平和集会」と同じように毎年実施しています。

今年は、市民劇団「楽園天国」の方々6人をお招きし、佐世保空襲の朗読劇「ひいばあと雨」を見せていただきました。空襲で学校や家族を失った曾祖母が、ひ孫の私に語って聞かせる体験談です。あの日、28日の夜中から29日の明け方にかけてB29爆撃機141機が、2時間で1000tを超える焼夷弾を佐世保の街に降らせます。爆弾の音、火の手から逃げ惑う恐怖、戦争で大切な人を失う悲しさがピシピシと伝わってきました。子供たちも真剣な表情でその世界を追体験していました。中には耳をふさいだり、思わず涙を流したりする子もいました。NCCの取材があり、その様子は夕方のJチャンネルで放送されました。記者の方と話をすると、原爆を取り上げ、平和の大切さを伝承していくことはもちろん大事だが、もっと身近な佐世保空襲のような体験談をきちんと伝承していく必要があると語られていました。家族や大切な人、その人たちを失うことは悲しいし、忘れてはいけない、代表児童が語った感想にこの朗読劇を開催できて良かったと感じました。



## 【泳ぎが上達したよ！】6月28日・29日

市の体育授業サポート事業で、今年も水泳協会から3年生の水泳の授業のサポートに来てもらっています。昨日・今日と3時間で、3年生の泳ぎがぐんと変わってきています。手は耳より後ろ、これが基本。しっかりと構えを確認しながら、壁をしっかりと蹴って「蹴伸び」。たったこれだけでも美しさが違います。手本として50mクロールで泳いで見せられました。ひとかきでどこまでも進みます。クイックターンを初めて見た子もいました。個別に対応したり、プールサイドで基本をしっかりと確認したりすることで、子供たちもその変化に自信をつけているようでした。少しでも泳ぐことに苦手意識がなくなって、泳ぐ距離が長くなることを願います。

